



日退教和歌山新聞

日本退職教職員協議会和歌山
日退教和歌山
640-8114 和歌山市船場町16
日教組和歌山内
TEL 073-436-6820

あいさつ

会長 宮本 修介

新年あけましておめでとうございます。昨年はい退教活動諸行事に会員の皆様のご支援ご協力を頂きありがとうございました。

さて、昨年より新型コロナウイルス感染症が世界的大流行(パンデミック)となり、本年に入っても困難な状況が続き、ロックダウン(都市封鎖)によっても終息が見えてきません。国内では、安倍前政権はさつさと政権を投げ出し、菅政権に丸投げ、政権の責任を放棄しています。

また、本年は衆議院議員選挙を控えています。解散の時期はいつになるのか不透明ですが、準備万端の体制で臨みたいと思います。その折には会員の皆様のご協力をお願い致します。大変な状況下ではありますが、先ずは健康に留意されてこの難局を乗り切りましょう。

後期高齢者の医療費

自己負担が2割に引き上げか!

新聞等で報じられているように、12月17日、厚労省の「社会保障制度審議会医療保険部会」は、政府の閣議決定を経て、後期高齢者(現役並み所得者を除く)の医療費の窓口負担を1割から2割に引き上げると発表しました。この法案は次の通常国会で審議されますが、2割負担の対象となるのは課税所得が28万円以上で年収が200万円以上(単身者の場合。夫婦等複数世帯の場合320万円以上)の人です。施行時期は2022(令和4)年度後半、政令で定めるとなっていて、まさに団塊世代をターゲットにした改正(改悪)案です。また、「年収200万円以上」のラインは今後政令によってさらに引き下げることができるよう定められているので、今後は政府の腹一つで引き下げも可能になります。

医療制度の変更は、後期高齢者のみならず、私たち一人ひとりの健康や生命にかかわる重大なことがらです。国会での審議に注視しながら日退教本部と共に取り組みを進めていきます。会員の皆様のご協力をお願いします。また、ご意見やご要望あるいは疑問点などお聞かせ下さい。(連絡先は下段に掲載)

コロナ禍に思う

浅野 由隆

昨年は、新型コロナウイルスの蔓延により、過去に経験したことのない不安だらけの一年だった。国や県からは、マスク・手洗い・うがい、三密を避ける、ソーシャルディスタンスをとるといった新しい生活様式への変容を強く求められてきたが、コロナ終息に向けた納得のいく政策は何一つ見えてこなかった。

コロナ禍の不安を取り除くためには、やはりPCR検査をもっと身近なものとして浸透させなければならぬだろう。一定規模の会社や工場、大学において、それぞれの責任で検査体制整備する。市中の病院や医院ではインフルエンザ並みに希望者の検査を実施する。陽性と判明した場合には適切な対応を迅速に行う。

「コロナに感染しているのでは」といった不安を解消することで医療者への負担を軽減し、CO2削減キャンペーンや経済活動などにも円滑に繋がっていくものと期待する。

待ち望まれる安全なワクチンや薬ができるまで、国民一体の取り組みをさらに強め、一人ひとりが少しでも我慢しながら、出来ることから頑張っていく覚悟が必要であろう。

日退教和歌山も新聞
やさまざまな情報提供
にラインやメールを
活用してはどうで
ようか。

ちょっと教えて??

「確定申告ってしなければいけないの?」

公的年金の収入金額の合計額が年 400 万円以下で、公的年金や退職年金以外の収入が年 20 万円以下の方は確定申告が不要です。

しかし、「医療費が多い」「生命保険の保険料を支払っている」「災害や盗難に遭った」「マイホームを購入した」「自宅をバリアフリー化した」など、税金が戻ってくる可能性が高い場合は確定申告をしましょう。申告をしないと税金は戻ってきません。

昨年度末に退職された方も、1月～3月の給料は年末調整されていないので、確定申告をすれば税金が返ってきます。忘れずに確定申告をして下さい。

日退教和歌山の事務局でも確定申告のお手伝いをしていますので連絡して下さい。(1月末より)



10 / 15 (木) 第7回グランドゴルフ大会

今年は晴天に恵まれました。

- 優勝は 福塚弘子さん
 - 2位 南方栄三さん
 - 3位 三木正邦さん
- ホールインワン賞
福塚さん
南方さん

日退教和歌山の連絡先

<住所>

640-8114 和歌山市船場町 16

<電話>

073-436-6820

<メールアドレス>

nittaiyowakayama@crest.ocn.ne.jp

日退教和歌山の新しいメルアドです



新型コロナウイルス。東京都・3県で緊急事態宣言。続いて大阪府も。一筋縄ではいかない。強敵にどう対処すれば良いのか。

日退教和歌山新聞

日本退職教職員協議会和歌山
日退教和歌山
640-8114 和歌山市船場町16
日教組和歌山内
TEL 073-436-6820

☆ご意見ありがとうございました

日政連議員へのご意見・ご要望より

以前から、日教組和歌山の組合員から日政連議員の活動がよくわからないという意見がありました。日退教和歌山の会員のみなさまの中にも、そう考えている人がいるのではないかと思います。今年の9月に現役組織とともに会員のみなさまに県政や市政について、ご意見やご要望を聞くために「ご意見等記入用紙」を配布させていただきました。その結果、次のようなご意見をいただきました。藤本県議や山本市議からの回答をご紹介します。

☆ご意見1

和歌山市冬野の県道、鳴神く本渡線の新道について、バイクが着工しかけていますが早く開通をお願いします。旧道は通勤時間には、県道を渡れなくらい車が渋滞します。早期完工を望みます。

*回答(藤本まり子県議より)

県道鳴神く本渡線の進捗について
現在、都市計画道路を基準に設計の段階に入っています。本渡の田んぼのある平坦部分を通すことなるため、道路を造る際の盛り土のやり方で田畑への浸水がどうなるのかといった検証が必要となるため、慎重に進めているとのことです。
地元説明会は11月下旬から12月初めにかけて行っていきます。

☆ご意見2

選挙の時だけでなく幹事会や総会に出席し、挨拶と同時に最新の県政や市政を語っていただけると県政や市政の様子がよく分かるのですが...

藤本議員は会員でもありますが、県政への取り組みがよく分かり、支援したごとの成果を感じています。

*回答(日退教事務局長)

ご指摘のとおり、藤本県議は会員でもあるので、幹事会・総会への出席依頼をしています。山本市議については、日政連議員として日退教としても推薦していますので、選挙の年には出席を依頼しています。今後のことにつきましましては、幹事の皆様のご意見を伺って決めていきたいと思っております。

☆ご意見3

30人以下学級の早期実現を国に要望してほしい。コロナ禍であり少人数の方が密にならず、きめ細かな指導ができるかと考えます。孫たちの明るい顔を見たい。

*回答(藤本まり子県議より)

今年の9月県議会において、藤本県議が中心になり、「義務標準法の改正による35人以下学級の推進を求める意見書」を文教委員会に提出し、県議会で採択されました。和歌山県議会の意見書として、衆・参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文科大臣宛に送付されています。

☆ご意見4

害獣対策 山地・田畑地では、イノシシを始め害獣の被害は甚大です。防獣対策購入補助金などもっと手続きが簡単にならないか。道路・溝などイノシシにやられたりして傷みが酷い。原材料支給など実態に応じて支給されたし。

*回答(藤本まり子県議より)

鳥獣害対策について
防獣対策はいくつもメニューがあり、そのメニューごとに手続が必要となります。また、個人で申請することができないため、2軒以上の農家が協議会を作ってください、各市町村に申請するという事です。
こういった手続が煩雑なため、簡単にならないのかといったご意見がでるようになっています。
原材料の支給等は行っていないという事でした。
手続の際には声をかけていただき、お手伝いできればと思います。

☆ご意見5

30人(より25人学級)の早期実現:特性の持つ児童、学力困難児童が多く、そのため伸ばさなければならぬ児童の学力アップが難しくなる。

*回答(山本ただすけ市議より)

子ども達の置かれた状況は、一昔前とは大きく変化しました。家庭環境も多様化する中で、子どもの学力も一定の幅に収まらなくなっていると認識しています。つまり、見られる子どもをフォローしながら、理解度がある子の学力も伸ばしていかなければならない非常に難しい状況です。すべての子どもが目を行き届き、子どもの多様性に対応できる学校の体勢が実現できるよう強く提案してまいります。

☆ご意見6

トイレのメンテナンスの民間委託:清潔な洋式トイレの設置をしていただきましたが、職員のノズル等の清掃に時間がかかりました。1ヶ月に1回業者が来ていただくとうれしいです。

*回答(山本ただすけ市議より)

これまでも申し上げてきましたが、「教員免許がなくてもできることは教員にさせない。」が私の基本的な考えです。例えば、給食費の公会計化も行政がやれば良い。この考え方に則つて、トイレのメンテナンスも民間委託を進めるべきと考えていますので実現に向けた取り組みを進めます。

これからも、私たちの生活向上、社会への関心を持ち続けるためにも、後輩たちの教育の現場を支援するためにも、日政連議員へのご意見やご要望を聞く機会を作っていきたいと思っております。また、藤本県議、山本市議だけでなく、参議院の水岡議員、那谷屋議員の活動もいろいろな機会に会員のみなさまにお知らせしていきます。日政連議員のご支援をよろしくお願いします。

訃報

小松 玲子 さんが2020年12月に逝去されました。満86才でした。ご冥福をお祈り申し上げます。

略歴

- 昭和8年12月14日生
- 27年3月 和歌山県立星林高等学校 卒業
- 29年3月 和歌山大学短期大学 学芸学部 修業
- 29年4月～30年3月 和歌山市立河北中学校 教諭
- 30年4月～32年3月 和歌山市立伏虎中学校 教諭
- 32年4月～38年3月 和歌山市立日進中学校 教諭
- 38年4月～41年3月 和歌山市立伏虎中学校 教諭
- 41年4月～45年3月 和歌山市立紀伊中学校 教諭
- 45年4月～49年3月 和歌山市立城東中学校 教諭
- 49年4月～56年3月 和歌山市立明和中学校 教諭